

文部科学省「夏休みこども見学デー」開催

8月2・3日、文部科学省が開催した「夏休みこども見学デー」では様々な出前授業や体験活動に多数の子供と保護者が参加。検定体験プログラムでは、文部科学省が後援している各種検定から8団体が展出して検定に親しんだ。

日本語検定　　日本語に関する総合的な能力を計測

日本語検定を提供して日本語検定のベースでは、「ミニテスト」にチャレンジできる。未就学児は、日本語検定公式キャラクター「にほごん」の塗り絵を楽しんでいた。

日本語検定を提供して日本語検定の模擬問題

日本語検定のベースでは、「ミニテスト」にチャレンジできる。未就学児は、日本語検定公式キャラクター「にほごん」の塗り絵を楽しんでいた。

日本語検定を提供して日本語検定の模擬問題

色彩検定　　色彩のユニバーサルデザイン級を新設

色彩検定を提供してい

る(公社)色彩検定協会

のベースでは、様々な色

の水生ペーンで模様を描

き、スポットを使って水

滴をたらすことで色の成

分を可視化できるペーパー

クロマトグラフィーで

世界に1つだけの模様づ

き、スポーツで色に関す

る様々な理論や法則、ル

ールなど学ぶもの。色を

学ぶことで色を効果的に

使いこなすことができる

。プロフェッショナル

向けの1級から初心者向

け3級まで提供。ル

ーブルを用意する。CBT試

験場による「公開会

場試験」と試験期間内に

挑戦している。2014年からは文部科学省後援事業となつた。

マイスター及び1~4級があり、年4回実施。

指定会場による「公開会



日本語検定の模擬問題やキャラクター「にほごん」の塗り絵を楽しんだ



濃い線と薄い線で描いたはしごを撮影すると浮かんで見える



英検 Jr. ラーニングのリスニングに真剣に取り組んでいた

名古屋会場　　経済産業省の柴田仁志室長補佐(商務・サービスグループ教育産業室)は「経済産業省に教育産業室が立ち上がりて5年。学びのSTEAM化や探究化により、知る学びから創る学びに移行してわくわくした学びの実現に取り組んできた。教員等の理解をより一層深めることで、技術的にも、組織的・対話的で深い学びの推進が可能だ。

IBT受検(自宅受検)が可能だ。

中学校、自治体等でも活用されている。

小中学生で学ぶ食の知識を想定した4・5級は

CBTで全国280か所

のテストセンターで受

検。二次試験(実技)は

3級以上の一次試験は

CBTで全国280か所

のテストセンターで受

検。二次試験(実技)は

3級以上の一次試験は

CBTで全国280か所

のテストセンターで受

検。二次試験(実技)は

3級以上の一次試験は

CBTで全国280か所

のテストセンターで受

検。二次試験(実技)は

3級以上の一次試験は

CBTで全国280か所

のテストセンターで受

検。二次試験(実技)は

経済産業省の柴田仁志室長補佐(商務・サービスグループ教育産業室)は「経済産業省に教育産業室が立ち上がりて5年。学びのSTEAM化や探究化により、知る学びから創る学びに移行してわくわくした学びの実現に取り組んできた。教員等の理解をより一層深めることで、技術的にも、組織的・対話的で深い学びの推進が可能だ。

「探究・情報教育体験」

経済産業省は探究学習支援サー

員等の理解をより一層深めることで、技術的にも、組織的・対話的で深い学びの推進が可能だ。

ブロックで開催。8月8日は名古

行っている「探究的な学び支援補

出展。同サービス等を使った事例

るための最初の一歩である事例が

間でPBL学習に9時

第二回評価で検定の質を保証

NPO法人全国検定振興機構

文部科学省は2015年4月、個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方に注目して、より高度な学習や幅広い活動等につなげる仕組としての検定試験の質の確保についても審議を行っている。

NPO法人全国検定振興機構における各種教育プログラムや検定試験について、学習履歴を安全に管理するとともに、適切に活用するための教育の多様化と質保証の在り方に注目して、より高度な学習や幅広い活動等につなげる仕組としての検定試験の質の確保についても審議を行っている。

文部科学省は2015年4月、個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方に注目して、より高度な学習や幅広い活動等につなげる仕組としての検定試験の質の確保についても審議を行っている。

され

て

る。

検定内容や運用体制の

第三者評価のための機関

が、NPO法人全国検定振興機構(全検)だ。検定試験の質向上及び実施のため、調査・研究や研修会、検定試験の評価に関する事業を行っている。

文部科学省は2017年10月に「検定事業による自己評価・情報公開・第三者評価ガイドライン」を策定。全検では2019年度に「検定試験の第三者評価に関する調査研究報告書をまとめた。全検には文科省が後援する教育関連、語学関連の評価に関する調査研究も実施している。

第三

者

評

価

の

評価

の

基

本

の

基

本

の

基

本

の

基

本

の

基

本

の

基

本

の

基

本

の

基